

市立病院だより



～ 生活不活発病 ～ 病院管理者 武富 章

「生活不活発病」という言葉をご存知でしょうか。健康状態の悪化や加齢、ストレスなどにより毎日の暮らしで体や頭を使う機会が減ることによって、心身の機能が低下する状態を指します。

生活不活発病が社会的に注目を集めたのは、2004年の新潟県中越地震がきっかけでした。避難生活を送る高齢者に「地震の前は外をよく歩いたのに、避難所暮らしを続けるうちに歩けなくなった」「体を動かすのが面倒で気が進まなくなった」という訴えが多くみられたのです。活発な生活をしなくなると、筋肉や骨、心肺機能が衰えて歩行困難になったり、物事への関心が薄くなり抑うつ傾向が出たりするなど、心身機能が低下していきます。その結果、寝たきりにつながる場合もあります。あまり言葉はよくありませんが、「寝たふり」が「寝たきり」をつくってしまうといえるでしょう。

こうした症状を学術用語では廃用症候群といいますが、言葉のイメージがきつuitとして、最近では生活不活発病と呼ばれています。しかし、声に出してみると非常に言いにくい言葉ですね。廃用症候群という、すでに立派に通用している用語があるのに、新奇性もない焼き直しを行う必要はまったくくないと思います。こういう言い換えを考えた人物の頭のほうがよほど不活発なのだろうと感じます。

いずれにせよ、高齢者の介護予防において最も大切なことは、日常生活でどんな些細なことでも体を動かすことだと思います。その行動が少しでも家族や周囲の人たちに誉められたり、本人が楽しかったりすると、生活はより活発になっていくでしょう。例えば、家族のために朝刊を持ってくるとか、庭木の手入れを毎日行うとか、何か自分の役目を作っておくことが必要なのかもしれない。高齢者の手持ちぶさは要注意です。



泌尿器科のご紹介

泌尿器科 多田 勝



H21年4月より飯塚市立病院泌尿器科に赴任いたしました多田と申します。当院ではしばらく午後の診察しかなかったのですが、これからは午前中にも診察できるようになりましたのでよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは泌尿器科というとこういった印象をおもちでしょうか？一般的には、尿の出が悪い男性がかかる科という印象が強いのではないかと思います。確かに大事な部分ではあり、特に高齢者では前立腺肥大症という病気を持っていることが多く、排尿に深刻な障害をきたしていることもあるので注意が必要です。

しかし、泌尿器科は男性だけの科ではありません。女性に多い膀胱炎や、最近では尿漏れや頻尿など、今まではあまり問題にされなかった状態にも新薬や新しい治療が開発されています。また、従来は婦人科と泌尿器科合同で治療されることが多かった骨盤臓器脱（膀胱や子宮、直腸が膣を介して脱出する状態）についても新しい治療が開発され、泌尿器科単独で治療が可能となっています。これも女性特有の泌尿器科の疾患といえます。

泌尿器科というとなんとなく受診しづらい雰囲気があるかもしれませんが、前述のような女性の病気もあります。同じような悩みをお持ちの方も当科に多数受診しておられますので、一度受診してみてください。

また、泌尿器科では、腎がんや膀胱がん、前立腺がん等のいわゆる悪性腫瘍も扱っています。特に前立腺がんは早期に発見できれば、内服薬を使用した体に負担の少ない治療があり高齢者でも治療が可能です。検査も採血である程度の判断ができますので、60歳以上の男性は一度検査を受けることをお勧めします。

現在のところ泌尿器科医は1人だけですので大きな手術は難しいのですが、前立腺や膀胱の内視鏡手術をはじめ、尿失禁手術、尿路結石手術、その他さまざまな手術に対応しています。お悩みの方はぜひご相談ください。



フィルムレス診療開始のお知らせ

副院長兼放射線科部長 白水 康司

当院では電子カルテの導入に伴い画像配信システムを整備してまいりましたが、乳房撮影などの一部の検査を除き、8月からフィルムレス診療に移行いたしました。院内で撮影されるほとんどの画像は放射線室にある大容量の画像サーバに保存され、院内のネットワークを経由して各部署に配信されます。

フィルムレス診療にはさまざまなメリットがあります。X線フィルムを使わないことにより廃棄物が減ります。フィルムを探したり運んだりする必要がなくなります。撮影された画像は検査後すぐに診察室や病棟のモニターで参照することができます。以前の画像との比較も読影室や診察室のモニター上で簡単に行うことができます。

フィルム枚数などの制約がなくなりますので、より詳しい画像データを残していくことが可能となります。しかもそれらの詳細な画像を各専門分野の医師が同時に別の場所で共有することができます。

フィルムレス化によるこれらのメリットが存分に活かされ、患者様にさらに良い医療が提供できるものと期待しております。

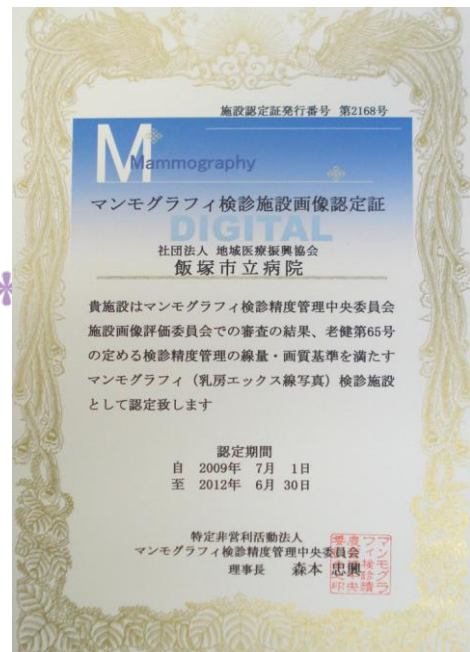


マンモグラフィ検診施設画像認定（A評価）を取得しました

マンモグラフィとは、早期乳がんのサインである微小石灰化を発見できる乳房専用のX線撮影装置です。しこりとして触れない早期乳癌をはじめ、触診や超音波では発見しづらい乳房にできる病気を見つけることができます。

マンモグラフィ検診および診療には、適切に撮影された『質の高い、良いマンモグラフィ』が必要となります。撮影装置があたらしくても、その使い方や現像条件によって、実は思いがけない画質であることも珍しくありません。マンモグラフィ撮影の実施機関は使用基準を満たした装置を有することが定められています。

当院では、2008年9月にマンモグラフィ装置を最新のものに更新し、このたび**2009年8月にマンモグラフィ検診施設画像評価（以下「施設画像評価」）でA評価を取得しました。**施設画像評価とはマンモグラフィ検診精度管理中央委員会（以下「精中委」）が書類審査、画質評価、線量評価を行い、総合判定の結果により4段階にて評価されます。例えば画質評価では画質、ポジショニング、フィルムの取扱など、事細かに点数が決められており提出した乳腺濃度の違うマンモグラフィ3組の全てで行われます。そして総合判定の結果、B評価以上が合格とされます。今回取得したA評価は基準を満たしている施設の中でも、「検診マンモグラムとして申し分ない」と認められた施設のみに与えられます。この結果は当院の乳がん診療の質の高さと乳がん検診に対する取り組みが認められたものです。



また当院では、より精度の高いマンモグラフィ検査を行うために、同じく精中委が定めた「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」が撮影に携わっております。撮影された写真は、臨床・病理・読影に関する幅広い知識を問われる認定試験に合格した「検診マンモグラフィ読影医師」が読影を行っております。

このように当院は、設備や画像の精度（マンモグラフィ検診施設画像評価）、撮影技術（検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師）、そして読影（検診マンモグラフィ読影医師）に関する全ての項目について、高い水準で検査・診断を行っております。現在この3つの認定をされた施設は、嘉飯山地区では、当院のみです。

飯塚市立病院外来担当表

2009年9月24日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	午前 8:20-11:30	1	派遣医師	本田(美)	派遣医師	派遣医師	派遣医師	西頭	
		2	高野	(新患)	(新患)	(新患)	福岡		
		3	(新患)	武富	武富	循環器専門医	(新患)		
		4	鍵山	鍵山	派遣医師	鍵山			
		5	本田(秀)	循環器専門医	古賀	本田(秀)	西嘉		
		6	古賀	平井	西嘉		亀田		
		7	出口				出口		
		8		(塵肺)				吉村(神経内科)	
		新患 救急	平井 本田(美)	西頭 高野	高野 亀田	西頭 平井	本田(美)		当直医1名 以外に 交代で1名 (計2名)
小児科	午前 8:20-11:30	2	牟田	牟田	牟田	高野	牟田		
	午後 13:00-16:00	2	牟田(7/4診-外来)	牟田(7/4診-外来)	牟田(7/4診-外来)		牟田(7/4診-外来)		
外科	午前 8:20-11:30	1			今村		野口(純)	交代で1名	
		2	二又	二又	岡部	兒玉	岡部		
		3	永田	野口(純)	吉田	吉田	永田		
		4(内科S)			兒玉				
整形外科	午前 8:20-11:30	1	吉田	山浦	山浦(注1)	木下			
	午後 13:00-14:30	2		吉田			田丸		
脳神経外科	午前 8:20-11:30	1				派遣医師			
	午後 13:00-15:00	1	派遣医師						
泌尿器科	午前 8:20-11:30	1	多田	多田	多田	多田	多田		
	午後 13:00-15:00	1	派遣医師				派遣医師		
眼科	午前 8:20-11:30	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤		
		2	西尾	西尾	西尾	西尾(注2)	西尾		
		3	吉澤		吉澤		吉澤		
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:00	1		派遣医師		派遣医師	派遣医師		
リハ科	午前 8:20-11:30	1	武富	武富	武富	武富	武富		
放射線科			白水	白水	白水	白水	白水		
			伊原	伊原	伊原	伊原	伊原		
麻酔科			野口(貴)	野口(貴)	野口(貴)	野口(貴)	野口(貴)		
皮膚科	午前 8:20-11:00	1		派遣医師			派遣医師		

※先生の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※小児科(7/4診-外来)の午後診察は、市の健診や予防接種に出務のため不在の場合がありますので、事前にお電話でお問い合わせ下さい。

(注1)初診の患者様の受付は、8:20-11:00です。

(注2)予約以外の患者様の受付は、8:20-11:00です。

休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・
12月29～1月3日(年末・年始のため)

面会時間：月～金曜日/13:00～19:00、
土・日・祝日/11:00～19:00

看護師募集

雇用形態：正職員
 具体的な仕事内容：看護業務で三交代勤務
 必要資格・経験：看護師免許・看護業務
 年齢条件：60歳未満

飯塚市立病院は“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって
 患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様様に愛され
 親しまれ、信頼される病院をめざしています。
 看護師としてあなたも一緒に参加しませんか？

看護部 平田 ひろみ看護部長

※詳細は、0948-22-2980(内線422)総務課 宮崎
 までご連絡ください。



社団法人地域医療振興協会 飯塚市立病院

〒820-0088 福岡県飯塚市弁分633-1

TEL: 0948-22-2980 / FAX: 0948-24-3812

HP: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/iizuka/html/>

